

第4学年 道徳科 研究授業 授業記録

日時 平成30年5月30日(水) 第5校時

第4学年2組 33名

授業者 矢野 篤彦

1 主題名 『自信を持って』(善悪の判断、自律、自由と責任 A—(1))

2 ねらいと教材名

- (1) ねらい 正しいと思ったことは自信をもって行うこと
- (2) 教材名 ドッジボール (『新しいどうとく』東京書籍)

3 授業記録 (13:20~14:05)

矢野 T:「それでは自分の名札を取って、机に座ってください。授業がはじまります。」

児童 (日直):「気をつけ!礼!」「よろしくお願いします。」

矢野 T:「よろしくお願いします。まず、机の上を確認します。教科書と配ったワークシートはありますか。」

ワークシートに名前を書きましょう。名前が書けたら待っていてください。」

矢野 T:「では、はじめていきたいと思います。今日は道徳の授業をしていきます。たくさんの先生が見に来っていますが、楽しくやってみましょう。」

矢野 T:「3年生のときに、アンケートを行いました。“あなたは正しいと思ったことは自信を持って行っていますか”というものです。覚えていますか。」

児童 :「はい。」

矢野 T:「アンケート結果を確認しましょう。『とても当てはまる』の回答が50%でした。『あてはまる』が42%、『あてはまらない』が0%でした。ここまでのいいですか」

児童 :「はい。」

矢野 T:「では、今日は自信をもって行動できるときは、どんなときかを考えてみましょう。」

児童 :「自分の発言をみんなに伝えたいときです。」

児童 :「みんなに伝えているとき、みんなが聞いているときです。」

矢野 T:「熱心に聞いているときだね。ほかには?」

児童 :「つけたしてですけど、みんなに知ってもらいたいときです。」

矢野 T:「わかりました。次の質問にいきます。逆に自信がないときは、どんなときだろう。」

児童 :「自分で思いついたことを考え直したときです。」

児童 :「みんなに知らせたくないときです。」 児童全員:「おー」(共感)

矢野 T:「みんなに秘密にしたいときだね。秘密にしていることがあるのかな。ほかにはどうでしょう。」

児童 :「不安なときや、はずかしいとき。」 児童全員:「あー」(共感)

矢野 T:「わかりました。今日はみなさんに自信について聞きました。今日は自信について道徳で学習していきます。では、めあてを出します。今日は自信をもって行動するためにはどのようなことが必要か、考えてみましょう。何か思いつくことはありますか。」

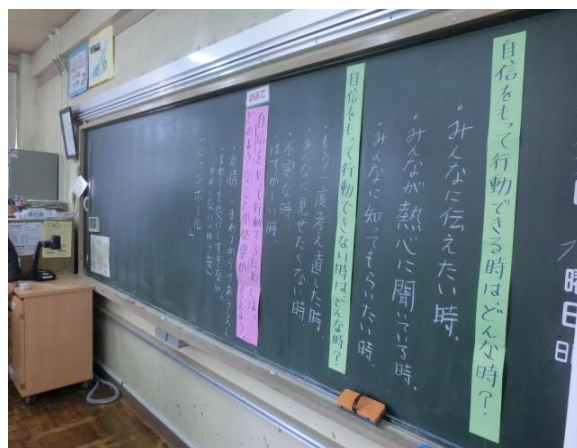
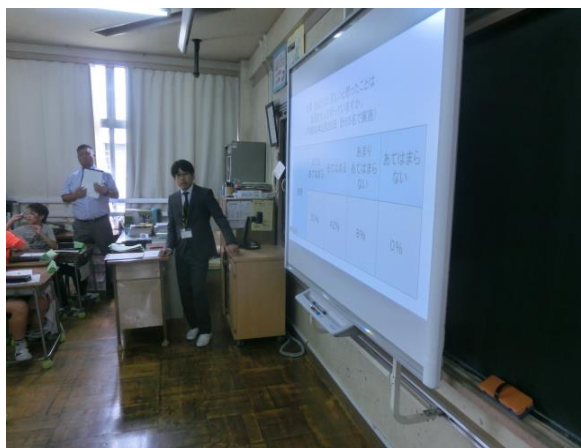
児童 :「友達とか他の人がヒントを出してあげるといいと思います。」

矢野 T:「応援してあげるってことかな」→児童「はい。」

児童：「周りの目線を気にしないことだと思います。」

児童：「周りが応援してくれると、勇気が出せます。」

矢野 T:「わかりました。教科書の10頁を開いてください。昼休みはドッジボールしましたか？え？いいですね、今日の内容にぴったりです。」



【特別の教科 道徳 ドッジボール】 範読



矢野 T:「みんなもこういったことは生活の中ではありませんか」→児童:「あります。」

矢野 T:「よくあることです。まず、ボールが1バウンドしているかというのが問題だったよね。ここままでいいですか。」→児童:「はい。」

矢野 T:「では質問です。どうして明は、はじめのうちは黙っていたのでしょうか。」

児童:「明は本当にそうなのか考えたから、黙っていたと思います。」

児童:「一郎君が怖かったからだと思います。」

児童:「一郎君に怒られるのもあるけど、いつもいばっていたからかもしれないと思いました。」

児童:「たくさん人がいて、恥ずかしかったからだと思います。」

児童:「一郎が本当はあっているかもしれないし、考え直したのかもしれないです。」

矢野 T:「このクラスにもそんな子いないでしょうか。では、次の質問です。反省会でどうして明は真っ先に手をあげたのでしょうか？」

児童:「はい。みんな賛成して、みんな来ないからだと思います。」

児童:「一郎に味方している人に、先に当たっていないと言われたら、恥ずかしいと思ったからです。」

矢野 T:「言われる前に、言おうということかな。」→児童:「はい。」

児童：「みんなちゃんと本当のことを言ってもらいたいと思ったからだと思います。」

矢野 T：「わかりました。では、次にいきます。次に誰が登場しましたか。」

児童：「登（のぼる）」

矢野 T：「そうですね。では、いつもあまり口をきかない登が立ち上がって言ったのはどうしてなのでしょう。」

児童：「怒りが爆発したからだと思います。」

矢野 T：「何に対しての怒りだろう。」→児童：「一郎に対してだと思います。」

児童：「さっきはもやもやしていたけれど、一郎に味方がいると思ったからです。」

矢野 T：「味方がいる。」

児童：「今、解決しないと後で大変なことにもなると思ったからです。」

矢野 T：「どんなことが起こるだろう。」→児童：「ケンカになると思います。」

児童：「ここで止めないと、また続いてしまうと思います。」

矢野 T：「登は自信满满だったのでしょうか。」→児童：「違うと思います。」



矢野 T：「わかりました。では、ドッジボールの話はここまでにして自分自身の生活を振り返ってみましょう。配ったワークシートを見てください。自分が自信をもって何かを言ったり、何かを大切にしたりするためにはどのようなことが大切なのでしょうか。書いてみましょう。」

【ワークシート記入】

児童：「先生。話し合いをしてもいいのでしょうか。」→ 矢野 T：「もう少し待ってください。」

矢野 T：「それでは、次に進みます。次にグループで話し合ってみたいと思います。では、グループになって話し合い3分間話し合ってみましょう。」



【ワークシート記入】

矢野 T:「ではグループで話し合ってみていかがだったでしょうか。」

児童:「自分は間違っていると思っていても、友達はあると思っている人もいるので、友達の意見を聞くということが大切だと思います。」

矢野 T:「友達に確かめてみるのだね。」

児童:「怖がらずに、勇気を出すということも必要だと思います。」

児童:「自信は、自分を信じると書くので、仲間に自分を信じてくれる人を見つけるのも大切だと思います。」

児童:「ケンカが続くと嫌な感じになるので、早く解決することを考えるのも必要だと思います。」

矢野 T:「後のことも考える。という視点も必要ですね。」

児童:「相手が納得してくれたことを信じるということだと思います。」

児童:「早めに自分の意見を言わないと、自分がすっきりしないと思います。」

児童:「一致団結しないといけないと思います。」

児童:「自分の意見を言っているときには、周りの人はその意見を尊重することも大切だと思います。」

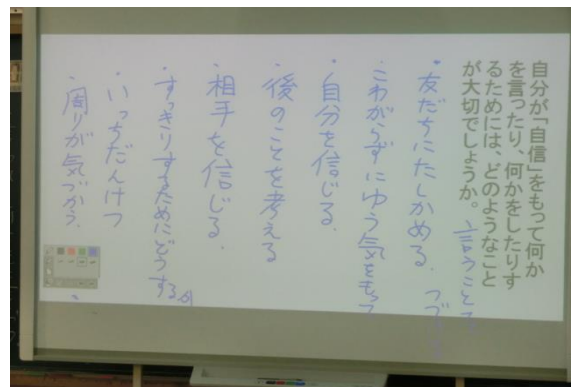
矢野 T:「ありがとう。いろいろな意見がでました。では、周りの人の意見も参考にしながら、最後に自分の考えをもう一度書いてみましょう。書き終わった人は聞きますので、手を挙げてください。」

児童:「勇気を出して、自分の意見を言うことが大切だと思います。」

児童:「相手のことを信じて、自分の考えを言うことが大事だと思います。」

矢野 T:「前の質問考えと変化したことはあったかな。」

児童:「私は友達の意見を聞いて、自分の答えが変わることもあるので、しっかりと聞かなければいけないと思いました。」



矢野 T:「ありがとう。今日はここまでにします。記入したワークシートは次回ファイルに貼り付けましょう。」